

開講科目名 / Course	在宅看護論	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	通年	
単位数 / Credits	2.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	福田 広美	
担当教員名 / Instructor	福田 広美、荒木 章裕、姫野 雄太、矢野 亜紀子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	在宅看護論では、在宅看護の基本的な考え方と援助方法を学習する。在宅療養者とその家族の意思を尊重した援助を行うため、法令や制度、社会資源について理解を深め、多職種連携や協働、ケアマネジメントを通じた看護を学ぶ。また、在宅看護の事例を通して在宅療養者とその家族に対する看護の展開について学ぶ。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅看護の基本的な考え方と援助方法を説明できる。 2. 在宅療養者とその家族の意思を尊重した援助を説明できる。 3. 在宅看護に関する法令や制度、社会資源について説明できる。 4. 在宅看護における多職種連携や協働、ケアマネジメントについて説明できる。 5. 在宅看護の事例を通して在宅療養者とその家族に対する看護を展開できる。 	
DPとの対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 確かな看護の力・技術力、 2. 看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、 マネジメント能力、 3. 心豊かな人間性と倫理観、 4. より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力、 5. 国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力 	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. 在宅看護の目的と特徴 02. 在宅看護の対象者 03. 在宅看護に関わる法令 04. 在宅看護に関わる制度の活用 05. 在宅看護におけるケアマネジメント 06. 在宅看護における家族への援助 07. 在宅看護の介入 08. 在宅看護の介入時期 09. 在宅療養の支援 10. 在宅療養の場の移行 11. 在宅看護における緩和ケア 12. 在宅緩和ケアの実際 13. 在宅看護の展開 14. 在宅看護の事例展開（療養者と家族の理解） 15. 在宅事例の看護展開（アセスメント） 16. 在宅事例の看護展開（在宅看護計画） 17. 在宅事例の看護展開（ケアマネジメント） 18. 在宅事例の看護展開（多職種連携） 19. 在宅事例の看護展開（在宅看護介入） 20. 在宅事例の看護展開（在宅看護介入と評価） 	
その他の授業の工夫	学生が主体的に学ぶため、グループワークや発表、意見交換等のアクティブラーニングを実施する。	
時間外学修	事前課題や筆記試験により講義に関する予習や復習を行う。	
評価方法と評価割合	出席・態度（10%）、レポート・提出物（40%）、筆記試験（50%）	
テキスト	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論（医学書院）	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	福田広美：病院に勤務する看護師 荒木章裕：病院に勤務する看護師 姫野雄太：病院に勤務する看護師 矢野亜紀子：病院に勤務する看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	訪問看護ステーションに勤務する看護師
実務経験をいかした教育内容	看護の実務経験を活かして在宅看護の知識や技術について教育する。	